

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 1 月定例会

2 開 催 日 時

平成 31 年 1 月 9 日（水）9 時 00 分開会 10 時 3 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、中島学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、古賀学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事、竹下生涯学習課参事、立石学校教育課長補佐兼学校教育係長、原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、眞子教育総務課総務係長、久山生涯学習課文化財係長、栗山生涯学習課図書係長

7 傍 聴

0 人

8 経 過 報 告

12 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

12 月定例会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 1 号 小学校給食における食物アレルギー対応方針について

【承認】

11 協議報告事項

- (1) 教育プランの進行管理について
- (2) 教職員の措置について
- (3) 鳥栖市小中一貫教育基本計画の改定について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 2 月定例会 平成 31 年 2 月 20 日（水）9 時 00 分から

○天野教育長

それでは皆さん、改めまして新年明けましておめでとうございます。元号が変わる新しい年になりますけど、鳥栖市の教育委員会にとって、また各教育委員さん方にとっても実りのある年になることを祈念しております。

1月も早いもので今日9日ということで、学校の方は昨日が始業式ということでスタートしておりまして、給食の方も今日から小学校中学校スタートするようしております。どこの学校も無事に始業式スタートしたというふうに聞いておりまして、冬休み中の生活事故、交通事故等も今から上がるのかは分かりませんが、今のところは教育委員会の方に報告があっておりません。

平成30年度も第四半期ということで、いよいよ3か月が勝負の年になりました。今日も進行管理の報告等もありますけれども、積み残しがないようにしっかり確実に実施をして、2019年度につなげていきたいというふうに思っていますので、よろしくお祈りしたいというふうに思っています。委員の皆様方今年もまたしっかり御指導の方をお願いしたいというふうに思っております。

それではただいまより、1月定例教育委員会を始めます。それでは経過報告をお願いします。はい、江崎課長。

○江崎教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございます。それでは経過報告につきまして何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。いいでしょうか。はい、それでは次に行きます。

2議事録承認ということで、議事録承認につきましては別冊になっております。議事録につきましてまとめていただいておりますので、また何かありましたら事務局の方へお願いしたいというふうに思いますが、ご承認のほどよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは議案に入ります。今回議案は1件のみということになります。議案第1号小学校給食における食物アレルギー対応方針についてお願いいたします。はい、平川課長。

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、詳しく説明をしていただきまして本当にありがとうございました。それでは、この点につきまして御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。

私の方から、20品目に関係する80名ぐらいの対象の子供がいますけど、4品目に関係すると何人ぐらいになりますかね。そこを教えてください。原センター所長。

○原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

はい。鶏卵、乳、エビ、カニの4品目ですね、先ほど私80名というふうに申しましたが、現在最新の数字でいきますと75名になっています。これはアレルギーが解除になった子供もおりますし、転出した子供もおりますので人数が若干減っております。内訳ですけれども、4品目のみ対象となる児童は33名、4品目以外の方が20名、4品目と何かプラスアルファの方が22名というふうになっております。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。委員の皆さんいいでしょうか。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

給食調理の現場での御苦勞が伝わってくる説明だったんですけど、たしか昨年夏ぐらいだったでしょうか、保護者の方とか市議会の方も参加して研修会があったように思ってます。そのときの資料を探そうと思ったけど持ってきてなかったのですが、そのときに保護者の方も非常に感謝をされて、やはり自分の子供のことでちゃんと育っていくようにということとされているし、家から送り出してから学校でもそういうことをしてもらっているというふうなことで感謝をされてる御意見が多かったように思います。ヒヤリハットの事例なんかも説明をなさって、「ああ、そうだったんですか」ということで、それも肯定的に受け取られていたように思います。

ただ、数を減らすというイメージが、悪く言えばどうしても改善というよりも自分たちがやりやすいように、手抜きをするんじゃないかというふうな受け取り方をされかねないという危惧はあったんですね。ただ、私も現場に参加させていただいて実態はこうなのかなというふうに理解はしてたんですが、市議会からもやはりそれはあまりよくない方向へ行っていないかというような御意見が出てたように思ってます。それに対する答えも出てはいたんですけど、それがいつまでも尾を引かないような形で、しっかりとまた必要な場合には御説明をされて納得していただけないと、ずっとそういった方向に深く切り込んでいかれると難しい部分もあるのかなというふうに思ってます。そこら辺の対応は気長に適切にしていっていただければという、これは願いです。毎日のことで現場は大変だということをそのときに来てあった議員さん方も言われてて、出てたのは割と皆さん肯定的な御意見だったかなというふうに思ってます。これからも、しっかりと頑張っていただければなと思ってます。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございました。非常に的確にまとめていただきました。どうしてもサービスの低下っていうようなイメージを払拭できない部分もあるということと、安全面をしっかりとやるんだというようなことで今センター所長が話をしてくれたことを啓発をしながらやっていくと。そしてもうヒヤリハットは許されないというところを含めて、気を引き締めて来年度4月1日からお願いしたいというふうに思ってます。それでは、今回の、アレルギー対応方針について御承認いただくということによろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは協議報告事項に移ります。まず最初に、教育プランの進行管理についてお願いいたします。はい、江寄課長。

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○竹下生涯学習課参事

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。第3四半期分につきましての報告、そしてそれを第4四半期に活かすということを含めて報告いただきました。それでは委員の皆様から御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。はい。副田委員。

○副田教育委員

7ページでございますが、「健やかな体」の調理員による学校訪問がずっと伸びのびになってしまった理由というのを、お聞かせいただければと思います。

○天野教育長

はい、原センター所長。

○原学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長

はい。給食調理員の学校訪問がなかなかできない理由につきまして、少し御説明をさせていただきます。昨年度と比較しまして、嘱託職員の人数が減っている部分が目立ちます。そのことによりまして、業務量は変わらないのに人数は少ないというような状況が出ておりまして、一人一人の業務量というのが昨年と少し違っているという状況です。

もう一つ大きなものとして、給食物資の荷受けの時間を若干調整を行っております。今までは午後に荷受けしていたものを、一部午前中に荷受けの方を持ってきております。そのことによりまして、調理員が学校の方に行くということが少し難しくなっております。

もう一つ理由がございます。給食の喫食時間なんですけれども、厚労省が定める大量調理マニュアルの中では、調理後概ね2時間以内に喫食をすることが望ましいというふうになっておりまして、こちらの時間帯に合わせていきますと、どうしても調理の時間が後ろの方にずれてしまいます。そういったことがありまして、なかなか調理員を学校に行かせることができていないというような状況になっています。

ただ、3学期には6年生を対象としたお楽しみ給食等が計画をいたしておりますので、それには調理員の方を行かせたいというふうに思っております。なかなかこの点について実施が難しい状況にはなっておりますけれども、機会を捉えて学校現場、子供たちの交流ができるように進めてまいりたいというふうに思っております。以上です。

○天野教育長

はい、副田委員。

○副田教育委員

丁寧に御説明いただいてありがとうございました。

○天野教育長

他に。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。8ページの教職員のストレスチェックについてです。デリケートな問題ですから言える範囲で結構ですけど、もともとメンタルヘルス対策の一環として導入されたのかなと思いますし、これは選び出すだけではなくて、支援していくということが当然目的の大きなものだろうと思います。そういう中で、一定の対象者というのは労働実態のある方でしょうから、学校ではほぼ全員になるのかなと思ってんですけど、その中で受診率はどれくらいでしょうか。ひょっとしたら先々手を打たなきゃいけない方々がいらっしゃるかもしれませんし、もし分かれば教えてください。

○天野教育長

はい、平川課長。

○平川学校教育課長

はい。このストレスチェックは法律に基づきまして平成 28 年度から実施をしております。このストレスチェックの受検率でございますが、平成 28 年度が 79.20%、平成 29 年度が 92.70%、毎年 10 月ぐらいに実施をしておりますが、平成 30 年度が 94.60%というふうに最初は認知度が低かったんですが、昨年度からそこら辺の広報、呼びかけ、目的等について説明を各学校で行っていただき、受検率については上がっております。この 94.60 という数字でございますが、各学校には産休や育児休業などの職員がおりまして、長期にわたって職場を離れている職員もおります。こういう職員も含めての数字でございますので、そういう職員を除くとほぼ全員が受検をしているということになります。

この結果につきましては、今後 1 月下旬から 2 月にかけて各学校ごとに詳しい結果が出ることに毎年なっております。ただし、今、速報値で出ているものでは、高ストレス判定ということで昨年度が 7.2%でしたが、今年度は 12.4%ということで上がっております。ここをちょっと懸念しているところでございます。

今後は先ほど言いましたように分析結果が出ますので、それをもとに職員の精神衛生上あるいは職場環境等の改善に活かせるところは活かしていきたいというふうに思っているところでございます。以上でございます。

○天野教育長

古澤委員いいですかね。はい、戸田委員。

○戸田教育委員

はい、同じく 8 ページで学校施設の件なんですけれども、第 3 四半期の 1 番上の項目で「劣化状況調査」というのがあるんですけども、これがどういった位置付けのもので、着手したと書いてあるんですけども今後どういうふうにこれが使われるものなのか、少し補足説明していただけないでしょうか。

○天野教育長

江寄課長。

○江寄教育総務課長

施設の長寿命化計画というものが、国の方から平成 32 年度までに各施設ごとにそういった計画を策定をするようにという要請がっております。一つはですね、そもそも学校施設の耐用年数というものがこれまで大体 40 年から 50 年ぐらいで更新、いわゆる改築というようなことでされてきたみたいなんですけれども、なかなか改築となりますと費用的に相当かかりますので、できれば施設の長寿命化を図ってほしいということです。

これはほかのインフラについても、道路とか橋梁とかそういったことについても、この長寿命化計画を策定して、施設の延命化あるいは費用の平準化を図ってほしいとなっております。これはこういう公共施設を全て含めたところでの計画策定というふうなことで、順次国の方でも進められてこられました。それを受けましてこの学校施設についても、平成 32 年度までにできるだけ施設の延命化を図りながら、費用の平準化というものを図ってほしいとなっております。

国としては大体 80 年ぐらいは使えるんじゃないかというようなことで、それぐらい施設を延命化させるための改修の内容といたしますか、これまでやってきた改修の内容とプラスそういう延命化するための改修の内容を施設ごとに計画を立て、改修費用の平準化を図るとともに施設の延命化を図ってほしいというようなことで、

国のほうから 32 年度までにとりうようない定期限を切られております。それまでには何とかですね、市内 12 校の施設ごとの長寿命化計画を策定するための一つの準備作業として、こういった施設ごとの劣化状況の調査を行っていくというようにことで着手したところでございます。以上でございます。

○天野教育長

はい、戸田委員。

○戸田教育委員

今の話を伺うと、かなり大規模でコストがかかるような調査なのかなと思うんですけども、その辺の見通しみたいなのを。

○天野教育長

はい、江寄課長。

○江寄教育総務課長

調査につきましてはですね、それぞれやり方っていうのがあるかと思えますけれども、一応現段階で行っているのは私ども技術系の職員がおりますので、その職員でやれる範囲で調査票の作成を行っているというような状況でございます。

○天野教育長

はい、吉原委員。

○吉原教育委員

同じ 8 ページの 5 番で、教職員の働き方改革の推進ですね。これで、今 3 期とも基本になる定時退勤日の実施ということでなされております。パソコンを導入されて勤務時間の把握ということで始められていますけれども、この 3 期において定時退勤日がどのように推移しているかですね、よかったら教えてください。

○天野教育長

はい、平川課長。

○平川学校教育課長

はい。委員御指摘のとおり、9 月から 12 校で完全に実施をしております、その結果が 9 月、10 月、11 月と出ておりますが、平均しまして小学校の方が時間外勤務、残業というのが 50 時間ぐらい、50 時間を切るかなというぐらいです。中学につきましては 60 時間に届くぐらいの時間外の勤務の結果が出ております。学校によっても差がございます。それをもう少し分析をいたしまして、課題等の整理をして、打てる手は打っていかねばいけないと思っていますところです。概ね公務員の場合は 1 週間が 38 時間 45 分の勤務時間になっておりますが、出退勤時間の調査をしたところ 1.3 倍ぐらいの勤務時間になっているというような状況でございます。

○天野教育長

吉原委員いいですか。時間外の勤務の時間帯というのはですね、実は今回の一般質問でも出ておりました。10 月ですけど、中学校が 66 時間 12 分、小学校が 46 時間 50 何分くらいだったというふうに記憶してますけど、どうしても中学校の方が部活動があったりいろいろあって長いんですね。

実は皆さん御存じのように中央教育審議会の指針案というのが出て、それでは月に 45 時間というふうに言っていました。だからまあ小学校はそれなりなんですけど、中学校は果たしてできるのかというところで、年間 360 時間と挙げていたのでそれを 12 で割るとひと月 30 時間でしょう。30 時間というのはね、平均にしても厳しいなというところがあって、それに対してうちとしてもいろいろ実効性のある取り組みをやっているということですけど、やっぱり一番は時間外の勤務時間が長いということで、これはどうしてもなかなかこれだという手がないんですね。だからその辺

はまたしっかり考えていきたいというふうに思っております。

私の方から 9 ページのコミュニティ・スクール、学校運営協議会の支援ということで実施していただけてますけど、このコミュニティにつきましては、今年、来年基里小中で実施してその結果を踏まえた上でほかの学校へというふうな思いを持っております。今のところでいろんな運営会の支援等していただけてますけど、もうちょっと具体的にその辺についてお話をお願いしたいというふうに思います。平川課長。

○平川学校教育課長

はい。基里小学校の学校運営協議会、これまで 3 回実施をされておりますが、そこに参加をさせていただいております。私の個人的な感想でございますが、回を追うごとに学校運営協議会委員の皆さんの意見交換が活発になってきているなという感じがしております。また学校からも、学校行事に地域の方にも参画していただくという意思が強くなってきているように思われます。年間の学校行事にどのように地域の方の参画をお願いをしたらいいのかということも、来年度に向けての構想も少しずつ練られているところでございます。また逆に、学校の子供たちを地区の文化祭に参加させようというようなことも、新たな取り組みとしてやっていただいているようなところですよ。

私の方からは、地域で子供を育てるという観点から、早寝早起きや朝御飯、家庭の学習時間や生活習慣など学校でいろんなことを子供たちに指導しているわけですが、学校で指導していることを地域の方も事あるごとに、口に出してあるいは行動で示して指導していただくことが、その地域で子供を育てるということにつながるんじゃないかなということを提案させていただいているところです。どういうことかと申しますと、基里小学校では校長先生の方が返事、挨拶、靴揃え、こういうことを学校で子供たちに指導してあるということですので、地域の行事とか家庭でも同じように、大人が違った場所で、こうだよと履物揃えんばいかなやろうっていうようなことを言っていたとか、そういうことで子供たちが学校でも地域でも同じことを言われて、そういう習慣が身についていくのではないかなと思います。ほんの一例ですけども、ただ地域の行事に参加をするとか、地域の方が参加していただくだけじゃなくて、そこには必ず子供と一緒に育てるんだという視点を踏まえた何か取り組みというものをさせていただけたらどうでしょうかということをお話をさせていただいているところでございます。以上でございます。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。これも働き方改革につながるということで、一番してほしいのは何ですかというふうなことも含めて今からまた各学校の方でもいろいろ出てくるというふうに思いますし、可能な分についてしっかり検討していただきたいというふうに思っています。ある程度 1 年たったところでのその実績も出さなくてはいけない、それを踏まえて来年 2 年目ということでやっていきたいというふうに思ってます。

もう一点、せっかくですので PR も含めて 10 ページのなかよし会のところで、冬休み期間中に青少年ホームでやっているなかよし会の状況について御報告をお願いします。はい、竹下参事。

○竹下生涯学習課参事

はい。冬休みの勤労青少年ホームなかよし会の利用状況でございますけれども、12 月 25 日から 28 日までの 4 日間と、年明けて 1 月 4 日と 1 月 7 日の計 6 日間開設をいたしまして、延べ 151 人の利用がっております。最も多かったのが 12 月 26

日の 30 人で、一番少なかったのが 1 月 4 日の 11 人という状況でございます。以上です。

○天野教育長

ありがとうございました。それでは委員さん方よろしいでしょうか。

それでは次にいきます。教職員の措置についてお願いします。平川課長。

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。委員の皆様からいいでしょうか。はい、ありがとうございます。

では次に行きます。3 番目の鳥栖市小中一貫教育基本計画の改定についてお願いします。はい、平川課長。

○平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。改定をしたということで、基本的には教科「日本語」っていう事とコミュニティ辺りが随分変わってまいりましたので、その辺についても今回きちっとしたところで整理をして改定したという内容になっております。どうでしょうか。何か御意見等ございましたら次回でもまた報告をいただいて、よりよい基本方針をつくっていききたいというふうに思ってますので、よろしくお願ひしたいというふうに思っております。

それでは次に行きます。では、今後の予定についてお願いします。江寄課長。

○江寄教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。本当にたくさんの行事をいろいろ入れていただいでですね、ありがたく思っております。何か御質問ありましたら、はい副田委員。

○副田教育委員

一つ確認をさせてください。2 月 20 日の移動図書館アウトリーチ講座読み聞かせというのは出前講座かと思いますが、これは図書館司書の方が弥生が丘まちづくり推進センターに行かれて、読み聞かせをなさるとのことなんでしょうか。

○天野教育長

栗山係長。

○栗山生涯学習課図書係長

はい。今回の移動図書館のアウトリーチ講座読み聞かせにつきましては、ボランティア団体の方々から応援をお願いしておりまして、その方々に披露していただくようにいたしております。図書館の司書の方も当然出向いてお話することは可能なんですけれども、通常図書館の中でも読み聞かせを行っておりますので、今回はなるべく外部団体の方々との連携協働ということを考えておりまして、図書館司書が出向くのではなくボランティア団体の方による読み聞かせということにいたしております。以上でございます。

○天野教育長

いいでしょうか。

○副田教育委員

はい、承知しました。

○天野教育長

はい、古澤委員。

○古澤教育委員

もう一点。1月18日に市町村研究協議会の研修が福岡の天神でございますので、それに私も出席をさせていただきます。

○天野教育長

他にいいでしょうか。はい。

それではこれもちまして、教育委員会1月定例会を終わります。皆さんどうもありがとうございました。